

# 五島市ゼロカーボンシティ実現協議会 設立趣意書

大量の温室効果ガスが排出されることによる世界的な気候変動の影響により、海水温度や海面の上昇、海岸線の浸食、異常気象、生態系の変化などが指摘されており、これらを解決することが世界共通の重要かつ喫緊の課題となっている。

五島市においても、集中豪雨や大型台風による被害が増えており、市民の生命・財産を守るために気候変動対策は急務である。

このような状況の中で、平成20年に五島市地球温暖化対策協議会が設立され、長崎県と連携しながら市の実情に即した地球温暖化対策を推進するとともに平成26年には五島市再生可能エネルギー推進協議会が設立され、浮体式洋上風力発電などの再生可能エネルギー導入の具体的な取組を進め、地域産業の育成及び雇用創出に寄与するものである。

また、令和2年12月に「ゼロカーボンシティ」を宣言し、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指すことを表明したことにより、両協議会を統合し、再生可能エネルギーを最大限に有効活用しながら、二酸化炭素の排出削減に向けた、地球温暖化防止対策を市民、企業、行政等の多様な主体が協働して持続可能な脱炭素型まちづくりを目指すことを目的として「五島市ゼロカーボンシティ実現協議会」を設立するものである。